

# 発展の息吹あふれる中心地

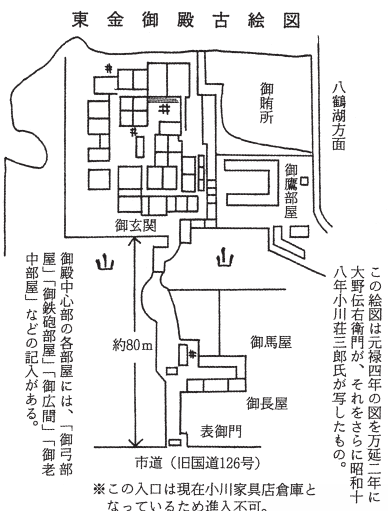
いつの時代に目を向けても、東金は九十九里地域の中心地として成長し続けてきました。古くは城下町として、また徳川家康ゆかりの地として栄え、多くの文化人や商人がこの地を歩き交ってきたのです。「上総の黄金町」と称された郷土への誇りは、現在の東金市へと発展するための原動力となりました。

# 東金 TOGANE

たくさんの人々をひきつけてやまない魅力は、近代都市として繁栄する今も色あせることはありません。東金駅東口にはおしゃれな商業地豊かな市民生活を支える公共施設などが整備され、市の表玄関としてにぎわいを増しています。そして西口には、心いやされる美しい自然と歴史や文化を伝える史跡の数々。ここは過去と未来が出会い、自然と都市が共存する場所です。

## 家康の権勢を示す東金御殿

東金の湿地では、鶴が舞い、羽を休める優美な姿が多く見られ、徳川家康のお鷹場となりました。慶長18年(1613)から19年にかけて、家康が鷹狩りに来遊するための御成街道がつくられ、その際の宿泊所として建てられたのが「東金御殿」です。建設にあたったのは、徳川家康の命を受けた佐倉城主・土井利勝で、ごく短期間のうちに敷地面積2万2110平方メートルに及ぶ大きな御殿を完成させています。ここには家康が2回、秀忠が7回来遊しました。



## 八鶴湖に映るソメイヨシノ

八鶴湖の花見の歴史は、東金御殿があつた慶長19年(1614)までさかのぼります。

徳川家康が東金御殿を建造したとき、小さかった池を広げ、谷池または御殿前池と称したのが現在の八鶴湖です。池の三方が山で、東岸に最福寺、西岸に本漸寺と2つの名刹が眺められます。この八鶴湖を取り囲む桜は約千本。昔から多くの文人墨客に愛された花見の名所で、湖面に映る桜の美しさが人々の心を魅了してきました。

## The core area is full of vitality

Throughout its history, Togane has been one of the core areas of the Kujukuri region. In an earlier time it flourished as a castle town and as a place in connection with Ieyasu Tokugawa, and attracted large numbers of cultured people and merchants. Its pride in its past has been a driving force of its growth as a city.

The east zone of Togane Station is a bustling area of chic shops and public facilities that serves as the gateway to the city. On the west side is a relaxing natural area and numerous vestiges of the city's culture and history. This is where the past and the future meet, where nature and city

### 1 最福寺

Saifukujji Temple

大同2年(807)最澄により八鶴湖畔に建てられたと言われています。文明11年(1479)に天台宗から日蓮宗妙満寺派へ改宗し、天正19年(1591)には寺領30石の御朱印寺となりました。智者大師画像をはじめ、釈尊入滅涅槃像、大黒天像、日蓮聖人筆の尺牘、聖徳太子像など数々の寺宝のほか、珍しい多羅葉(葉書の木)もあります。

### 2 本漸寺

Honzenni Temple

東金城主・酒井定隆の菩提寺として建てられた顕本法華宗に属する御朱印寺で、最福寺と並ぶ由緒ある寺です。境内には酒井氏一族の供養塔のほか、名僧や著名人の歌碑や句碑も数多くあります。また、乾龍文庫には、日乗上人の著書や蔵書など貴重な文献が保存されています。

### 3 北条伝馬手形(市指定古文書)

A pass permit for Hojo post horse

本漸寺の第4世日殿大僧正が京都から東金に下向する途中、天正11年(1583)小田原城主・北条氏政から賜ったものです。伝馬とは輸送用の駅馬のことで、手形には伏した馬を刻した朱印が捺されています。北条氏は「常に馬を用意しておくように」という意味の常調印手形を数多く発行しましたが、現存するものは少数です。



### 4 表参道杉並木(市指定天然記念物)

Cedar-lined path leading to the front gate of Shrine

日吉神社の表参道約200メートルの両側に、39本の大杉が立ち並んでいます。いずれも幹回り4.5メートル、高さ40メートル前後の巨木で、樹齢は推定350年以上。2本が一体となった夫婦杉、やどり木をもつ老杉など樹相も見事です。これらの杉は、徳川家康が元和元年(1615)にこの地を訪れた際、植樹させたものと伝えられています。



### 5 浅間神社

Sengen Shrine

岩川池の近くに建つこの神社は、古くは「千眼天王」とも呼ばれていました。子育ての神様として親しまれ、毎年6月30日の「せんげんさま」のお祭りは、浴衣姿でお詣りする子どもたちなどでにぎわいます。

### 6 神使 申一對(市指定有形文化財)

Shinshi Saru-hitsu, a pair of monkey messengers of the gods

古くから、神社にはその祭神にゆかりの動物を神使とする風習があります。日吉神社の神使は申です。この像は元禄8年(1695)9月に、上総国山辺郡台方村の木村嘉平次が奉納したもので、高さが131センチメートルもあります。作者は不明ですが、量感に富み、親近感あふれる姿です。



### 7 日吉神社

Hiyoshi Shrine

最澄が最福寺を創建したとき、近江国の日吉神社の分霊を鶴ヶ嶺の頂上にまつたのが起り点とされています。本殿は市指定有形文化財で、建てられたのは元和元年から延宝年間(17世紀)ごろと思われまます。一間社流れ造り、椀皮葺きで向拝がつき、柱には龍、手挟みには菊、脇障子には一枚板には梅がそれぞれ彫られています。2年に一度、7月に行われる祭礼は、仮宮まで神輿をかつぎ、山車と屋台が市内を練り歩く壮麗なものです。





8 田間城址(市指定史跡)

Ruins of Tama Castle



酒井定隆が永正6年(1509)に築いたとされる城です。戦国時代の典型的な丘陵城郭で、深さ7メートルの空堀で南北二郭に分けられています。また、主郭の北側には田間神社の本宮をまつり、城の鬼門にあたる松之郷金谷には本漸寺を建てています。戦国時代の終わりでまで東金城の支城として機能したかと思われま

9 大野茶園

Ono Tea Garden

葉種業を営む豪商・大野家の八代目伝兵衛は、文久元年(1861)に東金で製茶業を始めました。京都の宇治で茶の木を育て方などを研究し、鶴ヶ嶺一帯の台地に茶畑をつくりました。その広さは20ヘクタールにおよび、300人もの人たちが働いていたそうです。東金の茶は味も香りも良いと評判になり、有栖川宮熾仁親王から「東嘉園」という名を賜りました。明治になるとアメリカへも輸出され、明治20年頃まで製茶業が続けられました。



10 丸山遺跡(市指定史跡)

Mariyama ruins

日吉神社の北側にある古墳時代から平安時代までの集落跡です。昭和33年(1958)に東金高校の考古学クラブによる発掘調査が行われ、市内における古代住居跡発掘の第一号となりました。その後、昭和50年(1975)から大規模な調査が行われ、約100戸の竪穴住居跡と多数の遺物が発見されました。現在は丸山公園として整備されています。

11 東金城址(市指定史跡)

Ruins of Togane Castle

東金市の基礎を築いた戦国時代の酒井氏の居城です。大永元年(1521)に酒井定隆と隆敏が田間城から移ったという伝承があります。城山と呼ばれる丘の上に築かれ、最高所に主郭を配し、空堀で細長い第二郭に分けられています。



12 新宿浅間神社前の庚申塔(市指定有形文化財)

Koshinko, a stone monument of monkey gods, in front of the Shinshuku Sengen Shrine

庚申とは干支の一つ「かのえさる」のことです。この日は寝ている間に体内から三尸という虫が抜



け出し、その人の罪を神様に告げ、命を縮めるといわれていました。そこで徹夜して庚申の神々をまつたのが庚申会(庚申待)です。板碑型の塔の中央にはお題目が、下部には「見ざる、聞かざる、言わざる」の三猿が刻まれています。



13 火正神社

Kasho Shrine

火の神様といわれる「かぐ土の神」をまつる神社で、元禄11年(1698)に創建されました。社名は「火消大明神」から「火正大明神」へと変わり、明治以降に「火正神社」と改めたようです。祭礼は隔年の1月28日に行われ、神輿は享保18年(1733)1月の建造といわれています。

14 田間神社

Tama Shrine

仏教の神様である第六天が祀られており、地元では「第六さま」と呼ばれています。祭礼は旧暦8月15日に行われ、神輿を担ぐ禰宣という役が、代々同じ家に引き継がれているのが特徴です。祭りの最後は「お山」といって、急な石段を登り神社まで帰りますが、疲れ切った身体で神輿を担ぐ禰宣に大きな拍手がおくられます。



受け継がれる伝統芸能



北之幸谷の獅子舞

(県指定無形民俗文化財)

Kitanokoya Shishimai

北之幸谷の稲荷神社の氏子に伝承された二人立の獅子舞で、毎年3回演じられています。なかでも秋祭りに演じられる「はしこ昇り」は、その動きの見事さで有名です。



東金ばやし(県指定無形民俗文化財)

Togane Bayashi, festival music

日吉神社の夏祭りで演奏されます。曲目は四丁目、通りばやし、ばかばやし、雷ばやしの4つで、このうち雷ばやしは押堀区の創作になるものです。

新宿囃子

(市指定無形民俗文化財)

Shinshuku Bayashi, festival music

日吉神社の祭礼のとき、新宿区の氏子によって演奏されるおはやしです。東金ばやしを基調とし、他に中山、おそめ、かめこの、越後獅子、金毘羅船々などの曲目があります。